

新しい地域の居場所づくり 畑活(ハタカツ)プロジェクト始動!



詳細は2ページをご覧ください

ご寄附いただきありがとうございました

11月6日、葛城市更生保護女性会様から、新型コロナウイルス感染予防の一助になればと、奈良少年院生の方々と並びに会員の皆さまが、心を込めて手づくりされた布マスクを寄贈していただきました。

また、地域の福祉に役立ててほしいと善意の寄附もいただきました。

お寄せくださいましたご寄附は、葛城市の福祉推進に大切に使用させていただきます。



11月27日、HondaCars大和奈良様から、災害時に役立ち屋外へ持ち運べるポータブル発電機(エネポ)と蓄電池を寄贈いただきました。

この発電機は燃料に一般的なガソリンではなくカセットボンベを使用するため、保存性に優れています。また蓄電池は、交流コンセントだけでなくUSB端子からスマートホンなどのIC機器にも利用できます。

いただきました機器は、災害時や緊急時に有効活用させていただきます。



【広報かつらぎ1月号:クロスワード解答】

①ヒ	ラ	②イ	③シ	■	④ネ
ラ	■	⑩ネ	タ	⑤バ	コ
⑪オ	⑥フ	■	⑫ウ	ス	■
⑬カ	タ	⑦カ	ケ	■	⑧オ
■	⑭ツ	ツ	■	⑨キ	ゴ
⑮ア	カ	ネ	ホ	ー	ル

※2重枠のキーワード「ゴライコウ」

つながろう手話コラム

～豊かなコミュニケーション～



コロナ禍で、ろう者は、日常の生活面で困惑することが増えています。

例えば、外出先の公共交通機関や病院、スーパーなどで皆がマスクを着用しているため、相手がしゃべっていてもわからず相手とのコミュニケーションが図れません。ろう者同士なら、手話の方法でやり取りができますし、透明マスクの着用では、口話の方法で、口の形を読みとることができたりします。

多くの方々にさまざまなコミュニケーション方法・手段があることを知っていただき、理解を広めることで、聴覚障がい者を取り巻く生活環境はより良くなると思っています。

市内在住 ろう者 男性

令和2年度 葛城市社協会費経過報告

12月1日現在、個人会費509名・法人会費11法人、計782,000円のご協力をいただいております。皆さまから寄せいただいた会費は、ボランティア育成、法人後見事業、ふれあい・いきいきサロンの助成事業、その他福祉事業に活用させていただく予定となっております。引き続き、社協活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

ゆうあいステーション休館日のお知らせ(毎週月曜日、月曜日が祝日の時はその翌日)

1月/4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)

2月/1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)

※年始、1月3日(日)まで休館になります。

※新型コロナウイルスの拡大防止対策として各催しの中止や、臨時休館する場合があります。

ご来館の前にお電話か社協ホームページでご確認ください。

ゆうあい放課後等デイサービスだより



ゆうあい放課後等デイサービスでは、コロナ禍による活動の制限がある中、感染予防も子どもたちと一緒に協力しながら、コロナウイルスに負けないよう体力づくりに取り組んでいます。

活動の中でも、体育室でのボールを使った運動は大人気で、仲間と楽しく遊びながら基礎体力を身につけていただける支援にもつながっています。他にも高学年児童は、筋力トレーニングや坂道を中心としたウォーキングなど、個人の目標に合わせたプログラムを取り入れています。

コロナウイルスが収束し、1日でも早く普段の生活に戻れるようお願い、免疫力を高められるようがんばりましょう。



SCのつぶやき

(生活支援コーディネーター)

畑活プロジェクトついに始動!



葛城市では、住民が主体となり支え合い助け合いの地域を創るため、生活支援体制整備事業における第2層協議体が、白鳳中学校区・新庄中学校区に分かれ、それぞれ協議を進めています。

新庄中学校区の第2層協議体(新庄セブンつながりレンジャー)では、ニーズ調査アンケートの実施から始まり、定期的な協議を続けてきました。その結果、地域の支え合い・つながり作り・世代を超えた交流のため、居場所づくりの推進を目標にしてきましたが、昨年の新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言を受け、協議自体も一時的にストップしてしまいました。

しかし、昨年6月には協議を再開し、コロナ禍でも継続できる地域の居場所づくりとして、3密になりにくい、屋外の畑活動「畑活」による居場所を作れるのではと方針を固めました。

メンバーのほとんどが畑作業の素人で、場所決めや必要な道具、苗などすべてゼロからのスタートでしたが、協議を進める中、市内デイサービスからお声かけいただき、畑を借りることができました。また、地元民生委員さんのご協力により、トラクターを出していただき、畑の畝まで作っていただきました。

11月27日(金)の苗植えは、天気もよく、協議体のメンバーやデイサービスのスタッフや利用者さんと一緒に畑作業に汗を流しました。デイサービスの利用者さんは畑の知識も豊富で、元気に活動していただき、何よりのリハビリになりました。

今回植えたタマネギ、イチゴなどの収穫時期はまだまだ先ですが、このプロジェクトの開始に至るまでに、たくさんの人と「出会い」「つながり」が出来たことがすでに大きな収穫です!

今後も、この「畑活」を通してたくさんの人との「出会い」「つながり」を野菜の苗とともに育てていきたいと考えています。

社協では、「ボランティア養成講座」を開催し、畑活動にかかわっていただけるボランティアを募集する予定です。実際の畑活動以外にも、広報、SNS発信、チラシづくり、調理など少しでも興味をお持ちでしたら、ご参加ください。詳細は次号ゆうあい通信(3月号)で案内予定です。



～協議体の様子～



～現地視察～



～民生委員さんに相談～



～ご協力いただいた民生委員さん～



～デイサービス笛吹裏の畑にて～



～協議体メンバーとデイサービス利用者さんによる畑活～

募金百貨店プロジェクト

株式会社道の駅葛城が登録されました



SDGs(持続可能な開発目標)をご存知でしょうか? 国連が採択した「貧困を無くす」「すべての人に健康と福祉を」など、解決すべき社会の広範な課題に総合的に取り組むための活動指針です。

赤い羽根共同募金会も、SDGsの目指す社会実現に向けた取り組みを進めています。その活動の中で企業と連携して進めていくための企画が『募金百貨店プロジェクト』です。

賛同していただいた企業・店舗が、寄附つき商品の登録をしていただくことで、対象商品の売り上げの一部が赤い羽根共同募金へのご寄附となります。その商品を販売、購入することで企業も購入者も日常的にSDGsへ取り組める内容となっています。

12月1日、「株式会社道の駅葛城」様が、このプロジェクトとして、ミネラルウォーターの「日田天領水」を登録され、奈良県共同募金会と調印式が行われました。株式会社道の駅葛城様のご協力に対して、厚くお礼申し上げます。



「日田天領水」販売風景▶



覚書調印式

『募金百貨店プロジェクト』にご協力いただける企業やお店を募集しております。ご協力いただける方は事務局(ゆうあいステーション内)までご連絡ください。

☎ 総務課 48-3373